

平成27年度第2回高知県入札・契約監視委員会 議事概要

開催日時	平成28年2月22日（金）午前10時から正午まで
開催場所	高知県高知市本町5丁目3-20 高知共済会館 COMMUNITY SQUARE 3階桜の間
出席委員	<p>甫喜本委員長 稲田副委員長 近藤委員 坂田委員 村瀬委員 山本委員</p>
次 第	<p>1 開会</p> <p>土木部長挨拶</p> <p>2 議事</p> <p>抽出事案の審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県道高知安芸自転車道線道路災害復旧工事 ・ 県道高知伊予三島線景観整備委託業務 ・ 久万川外地震高潮対策耐震調査詳細設計委託業務 ・ 国道194号（荷滝橋）防災・安全交付金橋梁修繕工事 ・ 町道佐渡鷹取線社会資本整備総合交付金工事 ・ 母島急傾斜地地域の安全安心推進工事 <p>3 その他</p> <p>（1）平成28年度入札・契約制度の改正案について</p> <p>（2）次回開催について</p> <p>（3）抽出委員選定について</p> <p>4 閉会</p>

〈抽出事案の審議〉

意見・質問	回答
<p>県道高知安芸自転車道線道路災害復旧工事について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査基準価格と同額での入札を行った2者の工事費内訳書の内容に違いはあるか。 ・ 若手技術者の育成状況は項目に採用されていないが、あまり取り組まれていないということか。 ・ B C P 認定の状況については全社得点しており、すでに策定されているのでインセンティブが無くなっているのではないかと思うがその点はどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標準的な積算内容であり、特に違いはなかった。 ・ 業者が若い人材の確保に意欲があっても、地域の業者によっては雇用が難しい場合があるため、総合評価方式の項目に若手技術者の育成状況を取り入れていない工事もある。 ・ A等級では多くの業者は策定しているが、B等級等の業者での策定をすすめていくため、項目に取り入れている。
<p>町道佐渡鷹取線社会資本整備総合交付金工事について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 辞退者が多いがどのような印象を持っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施工場所が梶原町であり、須崎市から1時間以上かかること、また、参加業者の手持ち工事量も影響していると考えられる。さらに、工種が橋梁下部工であることによる工事の難易度等が、辞退した業者が多くなった理由と推測される。
<p>母島急傾斜地地域の安全安心推進工事について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業者の辞退の理由として、資材運搬の経費等があるとのことだが、沖ノ島の業者でない、島外の宿毛市内の業者であればこの資材運搬費が高くなるということか。 ・ 離島での工事についてはあらかじめ競争性が少ないことを認識したうえで発注を行っているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資材は宿毛市の片島港から船で運搬することになる。 島内の業者でなければ、作業員の確保の面等から施工が難しくなることが辞退の理由であった。 ・ そのとおりである。